

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の概要（和歌山県）

1 調査の概要

(1)調査日 令和4年4月19日（火）

(2)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3)調査内容

①調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

全公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語	算数・数学	理科
学校数・児童数(小6)	223校・6,573人	223校・6,571人	223校・6,581人
学校数・生徒数(中3)	117校・6,149人	117校・6,159人	117校・6,167人

②教科に関する調査

国語、算数・数学及び理科

③生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

・学校に対する調査

(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1)全国（公立）の平均正答率の状況

単位：％

	小学校国語		小学校算数		小学校 理科	中学校国語		中学校数学		中学校 理科	中学校 英語
	A	B	A	B		A	B	A	B		
H25	62.7	49.4	77.2	58.4		76.4	67.4	63.7	41.5		
H26	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8		
H27	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	
H28	73	58	78	47		76	67	62	44		
H29	75	58	79	46		77	72	65	48		
H30	71	55	64	52	60	76	61	66	47	66	
H31(R1)	64		67			73		60			56
R3	65		70			65		57			
R4	66		63		63	69		51		49	

※ R2は新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

※ H31(R1)からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなっている。

(2)和歌山県（公立）の平均正答率の状況

単位：％

	小学校国語		小学校算数		小学校理科	中学校国語		中学校数学		中学校理科	中学校英語
	A	B	A	B		A	B	A	B		
H25	62.4	47.5	76.4	56.9		74.4	64.3	63.4	40.3		
H26	69.4	53.4	76.8	55.7		77.4	47.5	65.9	56.8		
H27	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1	
H28	70	56	77	46		74	63	62	43		
H29	75	57	79	46		77	70	65	48		
H30	72	55	63	51	60	75	59	67	45	65	
H31(R1)	64		66			70		59			55
R3	65		70			61		55			
R4	65		63		63	66		50		46	

※ R2は新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

※ H31(R1)からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなっている。

(3)和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
県	65	63	63	66	50	46
全国	66	63	63	69	51	49
差	-1	0	0	-3	-1	-3

○小学校は、国語が全国平均を下回り、算数と理科は全国平均と同程度となった。中学校は、全ての教科で全国平均を下回った。

(4)和歌山県（公立）の無解答率〔平均〕と全国（公立）の無解答率〔平均〕との比較

（小学校）

単位：％

	国語		算数		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国
H31(R1)	4.6	6.2	2.3	2.7		
R3	2.4	4.3	2.0	2.6		
R4	3.3	5.7	2.3	3.5	2.7	3.6

（中学校）

単位：％

	国語		数学		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国
H31(R1)	2.9	2.6	7.0	7.3		
R3	5.1	4.4	10.8	11.2		
R4	4.7	4.3	10.9	10.8	3.8	3.4

○小学校は、全ての教科で全国平均より低くなった。中学校は、全ての教科で全国平均より高くなった。

(5)記述式問題における和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
県	48.2	61.8	48.5	54.8	35.1	49.7
全国	51.3	60.2	47.3	57.4	36.2	53.5
差	-3.1	1.6	1.2	-2.6	-1.1	-3.8

○小学校は、国語が全国平均を下回った。中学校は、全ての教科で全国平均を下回った。

3 教科の概要

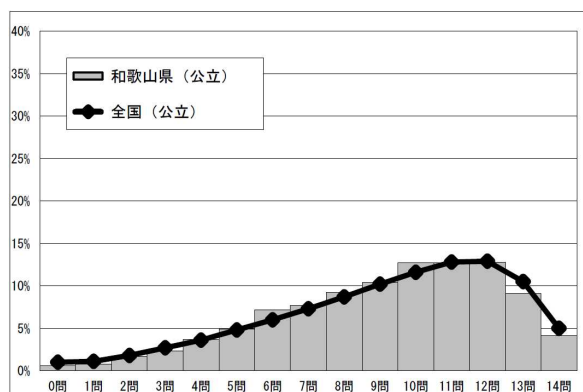
- ◇…「できている」と考えられるもの
- ◆…「課題がある」と考えられるもの
- [] 内は、問題番号と正答率

【小学校国語】

○小学校国語の平均正答率は65%であった。

- ◇必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることはできている。 [1]三 84.6%
- ◇漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことはできている。 [3]四 81.3%
- ◆人物像や物語の全体像を具体的に想像することに課題がある。 [2]二 63.9%
- ◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。 [3]二 35.1%

正答数分布グラフ



学習指導要領の内容別平均正答率

単位：%

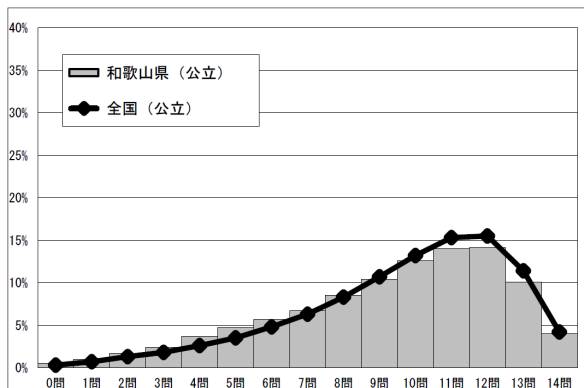
[小学校国語]		和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
知識及び技能	(1) 言葉の使い方に関する事項	70.3	69.0	1.3
	(2) 情報の扱いに関する事項			
	(3) 我が国に関する言語文化に関する事項	81.3	77.9	3.4
思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	65.1	66.2	-1.1
	B 書くこと	48.2	48.5	-0.3
	C 読むこと	62.9	66.6	-3.7

【中学校国語】

○中学校国語の平均正答率は66%であった。

- ◇聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することはできている。 [1]一 75.1%
- ◆論理の展開などに注意して聞くことに課題がある。 [1]二 58.4%
- ◆場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることに課題がある。 [3]三 58.0%
- ◆行書の特徴を理解することに課題がある。 [4]一 36.5%

正答数分布グラフ



学習指導要領の内容別平均正答率

単位：%

[中学校国語]		和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
知識及び技能	(1) 言葉の使い方に関する事項	69.8	72.2	-2.4
	(2) 情報の扱いに関する事項	47.1	46.5	0.6
	(3) 我が国に関する言語文化に関する事項	67.5	70.2	-2.7
思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	60.8	63.9	-3.1
	B 書くこと	47.1	46.5	0.6
	C 読むこと	63.1	67.9	-4.8

【小学校算数】

○小学校算数の平均正答率は63%であった。

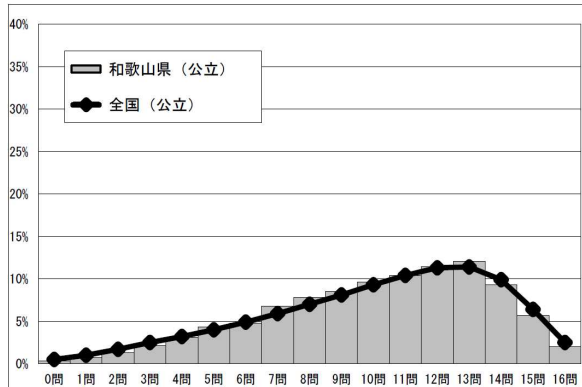
◇示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することはできている。 [1](3) 83.2%

◇表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることはできている。 [3](1) 77.8%

◆示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題がある。 [1](4) 29.9%

◆示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。 [2](3) 20.7%

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位：%

[小学校算数]	和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
A 数と計算	71.0	69.8	1.2
B 図形	63.6	64.0	-0.4
C 測定			
C 変化と関係	50.6	51.3	-0.7
D データの活用	68.2	68.7	-0.5

【中学校数学】

○中学校数学の平均正答率は50%であった。

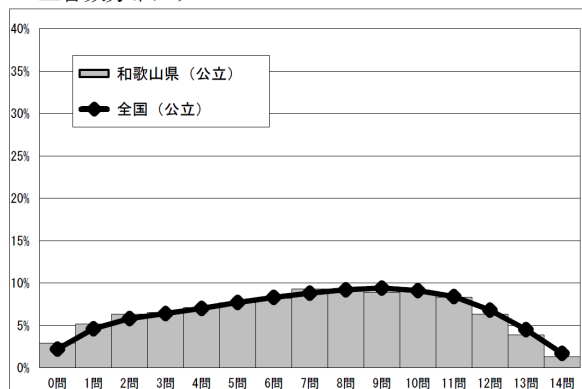
◇簡単な連立二元一次方程式を解くことはできている。 [2] 73.5%

◇多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解することはできている。 [5] 80.5%

◆一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題がある。 [4] 32.1%

◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 [8](2) 37.0%

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位：%

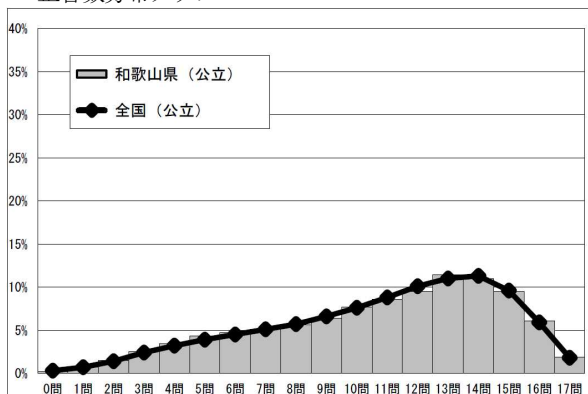
[中学校数学]	和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
A 数と式	56.9	57.4	-0.5
B 図形	41.7	43.6	-1.9
C 関数	40.7	43.6	-2.9
D データの活用	55.2	57.1	-1.9

【小学校理科】

○小学校理科の平均正答率は63%であった。

- ◇問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことはできている。 1 91.7%
- ◇観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことはできている。 [4](1) 82.4%
- ◆自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。 [2](4) 40.7%
- ◆実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。 [3](4) 37.2%

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位: %

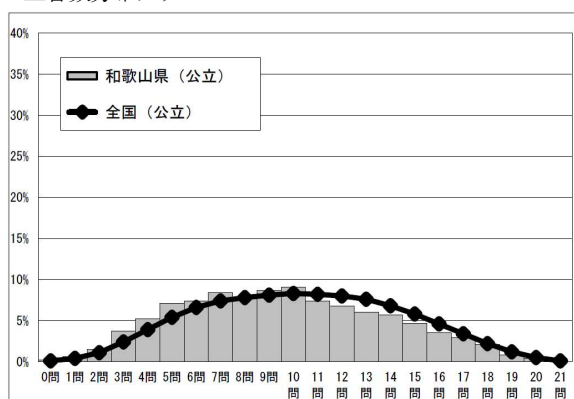
[小学校理科]		和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
A区分	「エネルギー」を柱とする領域	50.9	51.6	-0.7
	「粒子」を柱とする領域	61.2	60.4	0.8
B区分	「生命」を柱とする領域	74.1	75.0	-0.9
	「地球」を柱とする領域	63.4	64.6	-1.2

【中学校理科】

○中学校理科の平均正答率は46%であった。

- ◇化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことはできている。 [3](1) 74.7%
- ◆複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈することに課題がある。 [4](2) 60.2%
- ◆考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善することに課題がある。 [5](3) 42.6%
- ◆結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことに課題がある。 [8](2) 48.9%

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位: %

[中学校理科]		和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
「エネルギー」を柱とする領域		38.7	41.9	-3.2
「粒子」を柱とする領域		46.8	50.9	-4.1
「生命」を柱とする領域		53.2	57.9	-4.7
「地球」を柱とする領域		42.2	44.3	-2.1

4 児童生徒質問紙調査結果

※児童生徒質問紙調査69項目より、特徴のあるものを抜粋。

(1) 【学習に対する興味・関心・授業の理解度】

① 「勉強は好きですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の国語、算数は全国を上回り、中学校の数学は同程度であるが、小・中学校の理科は全国を下回り、中学校の国語は全国を下回り、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)国語	64.4	64.2	0.2
R3国語	58.7	58.4	0.3
R4国語	60.8	59.2	1.6
H31(R1)算数	70.7	68.6	2.1
R3算数	70.9	67.8	3.1
R4算数	65.8	62.5	3.3
H27理科	82.6	83.5	-0.9
H30理科	81.0	83.5	-2.5
R4理科	78.3	79.7	-1.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)国語	57.1	61.7	-4.6
R3国語	56.4	60.8	-4.4
R4国語	57.6	61.9	-4.3
H31(R1)数学	58.1	57.9	0.2
R3数学	57.9	59.1	-1.2
R4数学	57.6	58.1	-0.5
H27理科	57.9	61.9	-4.0
H30理科	57.2	62.9	-5.7
R4理科	63.7	66.4	-2.7

② 「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の国語、算数、中学校の数学、理科は全国を上回っているが、小学校の理科と中学校の国語は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)国語	85.9	84.9	1.0
R3国語	86.6	84.2	2.4
R4国語	86.2	84.0	2.2
H31(R1)算数	85.7	83.5	2.2
R3算数	87.0	84.6	2.4
R4算数	83.3	81.2	2.1
H27理科	88.1	87.9	0.2
H30理科	88.8	89.4	-0.6
R4理科	87.9	88.5	-0.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)国語	80.1	77.6	2.5
R3国語	80.1	80.1	0.0
R4国語	80.2	81.2	-1.0
H31(R1)数学	78.9	73.9	5.0
R3数学	75.4	74.6	0.8
R4数学	78.2	76.2	2.0
H27理科	67.0	66.8	0.2
H30理科	71.4	70.0	1.4
R4理科	76.2	75.2	1.0

③ 「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H30	80.0	78.4	1.6
H31(R1)	84.0	82.0	2.0
R3	84.9	82.7	2.2
R4	81.8	80.4	1.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H30	70.2	70.3	-0.1
H31(R1)			
R3	76.1	75.8	0.3
R4	75.0	75.2	-0.2

④ 「算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」について「そうしている」「どちらかといえば、そうしている」と回答した割合は、小学校は全国を上回っているが、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H30	79.3	80.4	-1.1
H31(R1)	83.8	84.0	-0.2
R3	89.5	89.0	0.5
R4	86.0	85.7	0.3

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H30	68.1	70.4	-2.3
H31(R1)			
R3	82.7	83.5	-0.8
R4	78.3	79.6	-1.3

- ⑤「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、中学校は差がある。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
H27	71.8	75.3	-3.5	H27	47.2	55.0	-7.8
H30	73.3	75.2	-1.9	H30	50.4	58.5	-8.1
R4	76.1	78.0	-1.9	R4	59.1	64.5	-5.4

- ⑥「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか（中学校：観察や実験の結果をもとに考察していますか）」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、中学校は全国と差がある。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
H27	78.0	80.4	-2.4	H27	60.1	67.2	-7.1
H30	81.3	81.8	-0.5	H30	67.1	72.3	-5.2
R4	83.8	84.9	-1.1	R4	74.1	78.9	-4.8

- ⑦「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、中学校は全国と差がある。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
H27	62.7	67.1	-4.4	H27	46.0	55.0	-9.0
H30	66.1	68.1	-2.0	H30	51.9	59.0	-7.1
R4	69.5	72.2	-2.7	R4	62.3	68.1	-5.8

(2) 【学習指導】

- ①「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」について、「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	61.2	62.5	-1.3	H31(R1)	50.4	55.8	-5.4
R3	63.9	63.5	0.4	R3	60.2	62.0	-1.8
R4	65.5	65.4	0.1	R4	61.1	63.3	-2.2

- ②「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	75.4	77.7	-2.3	H31(R1)	72.3	74.8	-2.5
R3	77.3	78.2	-0.9	R3	81.3	81.0	0.3
R4	76.3	77.3	-1.0	R4	77.2	79.2	-2.0

- ③「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を下回り、中学校は全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3	82.4	81.4	1.0
R4	78.7	79.7	-1.0

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3	77.2	74.3	2.9
R4	75.9	75.3	0.6

- ④「学級の友達（中学校：生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	73.0	74.1	-1.1
R3	79.4	78.8	0.6
R4	80.6	80.1	0.5

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	69.7	72.8	-3.1
R3	77.8	77.8	0.0
R4	76.0	78.7	-2.7

- ⑤「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3	79.7	78.3	1.4
R4	79.5	78.2	1.3

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3	73.6	74.6	-1.0
R4	72.6	74.7	-2.1

(3) 【学習習慣・読書習慣】

- ①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、中学校は全国と差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	70.5	71.5	-1.0
R3	72.6	74.0	-1.4
R4	69.0	71.1	-2.1

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	47.7	50.4	-2.7
R3	60.8	63.5	-2.7
R4	54.2	58.5	-4.3

※平成31年度までの回答項目は、「している」「どちらかといえば、している」である。

- ②「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」について、「全くしない」と回答した割合は、小学校は全国より低い、中学校は全国より高く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	18.3	18.7	-0.4
R3	23.8	24.0	-0.2
R4	25.6	26.3	-0.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	41.4	34.8	6.6
R3	44.9	37.4	7.5
R4	45.7	39.0	6.7

(4) 【生活習慣・自己肯定感・規範意識】

- ① 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	92.0	91.6	0.4
R3	90.7	90.4	0.3
R4	91.2	90.4	0.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	93.8	92.8	1.0
R3	93.2	92.7	0.5
R4	93.7	92.2	1.5

- ② 「自分には、よいところがあると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	81.1	81.2	-0.1
R3	76.2	76.9	-0.7
R4	79.4	79.3	0.1

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	74.8	74.1	0.7
R3	75.1	76.2	-1.1
R4	77.3	78.5	-1.2

- ③ 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3	84.3	84.3	0.0
R4	87.3	87.2	0.1

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3	84.6	84.2	0.4
R4	87.2	86.6	0.6

- ④ 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	79.2	79.0	0.2
R3	71.6	70.9	0.7
R4	73.2	72.5	0.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	70.9	70.3	0.6
R3	65.5	65.9	-0.4
R4	67.2	67.1	0.1

- ⑤ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	96.1	95.2	0.9
R3	96.5	95.5	1.0
R4	95.4	95.1	0.3

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	93.9	94.3	-0.4
R3	95.1	95.0	0.1
R4	95.4	95.0	0.4

(5) 【地域とのつながり】

- ① 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回り、中学校は全国と差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H31(R1)	52.1	54.5	-2.4
R3	50.2	52.4	-2.2
R4	48.6	51.3	-2.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	34.4	39.4	-5.0
R3	42.7	43.8	-1.1
R4	36.8	40.7	-3.9